


JASaff シンボルの使用に関する方針 (JASaff PL200) 新旧対照表	
改正案 (第3版案)	現行 (第2版)
<p>1 目的及び適用範囲</p> <p>1.1 目的 この文書は、JASaff に認定された認証機関及び試験業者 (以下「適合性評価機関」という。) が適切に認定シンボルを使用する又は認定の地位の表明を行うための JASaff による管理方針を示す。</p>	<p>1 目的及び適用範囲</p> <p>1.1 目的 この文書は、JASaff に認定された認証機関及び試験業者 (以下「適合性評価機関」という。) が適切に JASaff の認定シンボルを使用する又は認定の地位の表明を行うための JASaff による管理方針を示す。</p>
<p>1.2 適用範囲 (略)</p>	<p>1.2 適用範囲 認定シンボルの使用又は認定の主張の管理に適用する。</p>
<p>2 引用規格及び関連文書</p> <p>2.1 引用規格 ISO/IEC 17011 適合性評価－適合性評価機関の認定を行う機関に対する一般要求事項 IAF resolution 2018-13 Non-Accredited Product Certification where the CAB is accredited for same scope ILAC P8:03/2019 ILAC Mutual Recognition Arrangement (Arrangement): Supplementary Requirements for the Use of Accreditation Symbols and for Claims of Accreditation Status by Accredited Conformity Assessment Bodies 国際規格は、これらの規格を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本産業規格を用いることができる。なお、指定された場合を除き、用いる国際規格及び日本産業規格は最新版とする。</p>	<p>2 引用規格及び関連文書</p> <p>2.1 引用規格 ISO/IEC 17011 適合性評価－適合性評価機関の認定を行う機関に対する一般要求事項 IAF resolution 2018-13 Non-Accredited Product Certification where the CAB is accredited for same scope 国際規格は、これらの規格を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本産業規格を用いることができる。なお、指定された場合を除き、用いる国際規格及び日本産業規格は最新版とする。</p>
<p>2.2 関連文書 (略)</p>	<p>2.2 関連文書 JASaff QM100 認定センター認定業務マニュアル</p>
<p>3 定義 (略)</p> <p>3.1 JASaff ロゴ (略)</p>	<p>3 定義 この方針で使用する用語は、引用規格及び関連文書で使用する例によるほか、次に掲げる用語を適用する。</p> <p>3.1 JASaff ロゴ JASaff が自身を識別するために使用する、図 3.1 のロゴをいう。当該ロゴは、商標登録 (国内登録番号: 6172029 号) されている。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図 3.1 : JASaff ロゴ</p> </div>

<p>3.2 認定シンボル (Accreditation symbol) (略)</p>	<p>3.2 認定シンボル (Accreditation symbol) JASaffに認定された適合性評価機関がその地位を示すために、JASaffが交付するシンボルで、図3.2に示すJASaffのロゴに認定番号をあわせたもの。 認定番号は、認定された適合性評価機関に与えられる固有の番号「X」と認定された適合性評価活動を示す単語（試験業者にあつては、「Testing」、製品認証機関にあつては「Product」）の組み合わせで表す。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図 3.2 : 認定シンボル</p>
<p>3.3 清刷 特にことわりのない限り、JASaffが提供する特定の保存形式及び所定の解像度 (pixel/inch) で作成された認定シンボルの電子的画像データ。</p>	<p>3.3 認定シンボルの清刷 特にことわりのない限り、JASaffが提供する特定の保存形式及び所定の解像度 (pixel/inch) で作成された認定シンボルの電子的画像データ。</p>
<p>4 認定シンボルの使用及びその他の認定の主張に係る JASaff の方針 4.1 一般 JASaffは、JASaff認定を受けた適合性評価機関に、認定された範囲の活動に対して認定シンボルの使用及び認定の主張を認める。なお、適合性評価機関が認定シンボルの使用や認定の主張を行おうとするとき、この方針に従うことを要求する。</p>	<p>4 認定シンボルの使用及びその他の認定の主張に係る JASaff の方針 4.1 一般 JASaffは、JASaff認定を受けた適合性評価機関に、認定された範囲の活動に対して認定シンボルの使用及び認定の主張を認める。なお、適合性評価機関が認定シンボルの認定の主張を行おうとするとき、この方針に従うことを要求する。</p>
<p>4.2 認定シンボルの使用方法 4.2.1 認定シンボルを<u>認証文書や試験報告書等</u>に使用する場合は、適合性評価機関のマーク <u>又は適合性評価機関の明確な識別</u>と組み合わせて使用しなければならず、製品、プロセス若しくはサービスが JASaff によって認証又は承認されたと暗示するような使用は認められない。 4.2.2 (略) 4.2.3 (略)</p>	<p>4.2 認定シンボルの使用方法 4.2.1 認定シンボルを使用する場合は、適合性評価機関のマーク <u>等</u>と組み合わせて使用しなければならず、製品、プロセス若しくはサービスが JASaff によって認証又は承認されたと暗示するような使用は認められない。 4.2.2 認定シンボルの様式は JASaff が提供する清刷のとおり比率とする。これを変更したり、様式をゆがめたり又は回転させるなどして使用してはならない。色は、清刷で指定するもののほか、背景と識別できる任意の単色で表示することができる。大きさは、「JASaff」の文字及び認定番号が読み取れる以上のものとする。 4.2.3 認定シンボルは、JASaff が提供した清刷を基に複製しなければならない。他の文書に表示されたものの複写を使用してはならない。</p>

<p>4.3 認定シンボルの使用及び認定の主張における要求事項</p> <p>4.3.1 適合性評価機関は、認定シンボルの使用又は認定の主張に際し、以下の要求事項を満たさなければならない。また、これを確実にする管理方法を持つことが求められる。</p> <p>a) 認定シンボルを試験報告書、認証文書又はその他広告等に表示しようとするとき <u>及びその他の認定の主張をしようとするとき</u>は、別紙を JASaff に提出し、承認を得なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。また、広告等の印刷のため、清刷を印刷業者に提供する場合、当該印刷業者に対し適切に管理することを確実にしなければならない。</p> <p>b) 製品認証機関は、<u>認定された範囲の認証文書</u>を発行する場合は、その認証文書に認定シンボル又は認定の地位の表明を必ず含めなければならない。</p> <p><u>c) 認定された範囲内の適合性評価活動結果がない場合、認定シンボル及び認定の主張を試験報告書及び認証文書に使用してはならない。ただし、認定された範囲内の結果が一部でも含まれる場合は、認定範囲外の結果と明確に識別することで認定シンボル及び認定の主張を使用することができる。</u></p> <p>d) 認定に関して、誤解を招くいかなる表明もしてはならない。このような表明には次に挙げるものが含まれるが、これに限らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - JASaff が認定する範囲以外についても認定を受けたような表現 - JASaff の認定以外の FAMIC 業務について言及する表現 - 農林水産省の承認を受けたような誤認を与える表現 - 認定シンボルと紛らわしいマークの使用 - 認定シンボルと FAMIC マークの併用 <p>e) 製品、プロセス、サービスが認定機関により承認されたと暗示するような使用をしてはならない。また、適合性評価機関の依頼者が、自身の製品、広告等に認定シンボルを使用しないことを確実にしなければならない。</p> <p>f) 広告等で認定シンボルの <u>使用</u>や認定の主張を行う場合、次の全ての条件を満たさなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 適合性評価機関が JASaff に認定されたことを当該広告等の中で説明すること - 認定シンボル中の「JASaff」の文字及び文章の文字は、容易に読み取れる大きさのものであること（該当する場合） - 事前に JASaff の承認を得ること <p>注) 広告等には、ボールペン、カレンダーなどのノベルティアイテム、プレゼンテーションスライド、公告、ウェブサイト、電子メールなどのコミュニケーションツール（オンラインでの使用を含む）、看板、ポスター、パンフレットなどのイベントツール等が含まれる。</p> <p>g) 認定の一時停止があった場合、一時停止の期間中、すべての認定シンボル・認定の主張を表示した広告等の使用を停止しなければならない。また、認定を縮小した又は認定が取消された場合、認定の縮小又は取消しがあった後、対象範囲に係る認定シンボルの使用及び認定されている旨の表示をしてはならない。</p> <p>なお、認定の一時停止、縮小又は取消があった場合は、それによって生じる結果とあわせて、不当な遅延なく、認証機関の依頼者に通知すること。</p> <p>4.3.2 JASaff は適合性評価機関から 4.3.1a) に基づく申請があったときは、申請内容の確認を行い、確認結果を通知する。</p>	<p>4.3 認定シンボルの使用及び認定の主張における要求事項</p> <p>4.3.1 適合性評価機関は、認定シンボルの使用又は認定の主張に際し、以下の要求事項を満たさなければならない。また、これを確実にする管理方法を持つことが求められる。</p> <p>a) 認定シンボルを試験報告書、認証文書又はその他広告等に表示しようとするときは、別紙 1 を JASaff に提出し、承認を得なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。また、広告等の印刷のため、清刷を印刷業者に提供する場合、当該印刷業者に対し適切に管理することを確実にしなければならない。</p> <p>b) 製品認証機関は、<u>認定を受けている範囲の認証書</u>を発行する場合は、その認証書に認定シンボル又は認定の地位の表明を必ず含めなければならない。</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>e) 認定に関して、誤解を招くいかなる表明もしてはならない。このような表明には次に挙げるものが含まれるが、これに限らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - JASaff が認定する範囲以外についても認定を受けたような表現 - JASaff の認定以外の FAMIC 業務について言及する表現 - 農林水産省の承認を受けたような誤認を与える表現 - 認定シンボルと紛らわしいマークの使用 - <u>JASaff</u> 認定シンボルと FAMIC マークの併用 <p>d) 製品、プロセス、サービスが認定機関により承認されたと暗示するような使用をしてはならない。また、適合性評価機関の依頼者が、自身の製品、広告等に認定シンボルを使用しないことを確実にしなければならない。</p> <p>e) 広告等で認定シンボル・認定の主張を行う場合、次の全ての条件を満たさなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 適合性評価機関が JASaff に認定されたことを当該広告等の中で説明すること - 認定シンボル中の「JASaff」の文字及び文章の文字は、容易に読み取れる大きさのものであること（該当する場合） - 事前に JASaff の承認を得ること <p>注) 広告等には、ボールペン、カレンダーなどのノベルティアイテム、プレゼンテーションスライド、公告、ウェブサイト、電子メールなどのコミュニケーションツール（オンラインでの使用を含む）、看板、ポスター、パンフレットなどのイベントツール、<u>適合性評価機関が発行する報告書</u>等が含まれる。</p> <p>f) 認定の一時停止があった場合、一時停止の期間中、すべての認定シンボル・認定の主張を表示した広告等の使用を停止しなければならない。また、認定を縮小した又は認定が取消された場合、認定の縮小又は取消しがあった後、対象範囲に係る認定シンボルの使用及び認定されている旨の表示をしてはならない。</p> <p>なお、認定の一時停止、縮小又は取消があった場合は、それによって生じる結果とあわせて、不当な遅延なく、認証機関の依頼者に通知すること。</p> <p>4.3.2 JASaff は適合性評価機関から 4.3.1a) に基づく申請があったときは、<u>別紙 2 により</u>申請内容の確認を行い、確認結果を通知する。</p>
<p>4.4 認定シンボルの監視</p> <p>JASaff は、<u>適合性評価機関の認定シンボルの使用状況を、更新又は審査プログラムによる審査</u>時に確認する。</p>	<p>4.4 認定シンボル <u>及び適合性評価機関のマークの組み合わせ</u>の監視</p> <p>JASaff は、<u>4.3. a) 及び d) による認定シンボルの使用及び認定の地位に関する主張の方法の承認に加え、認定シンボルと適合性評価機関のマーク等を組み合わせて使用している適合性評価機関に対しては、更新又は審査プログラムによる調査時に使用実態などを確認する。</u></p>

<p>4.5 認定シンボル等の不正使用に対する処置</p> <p>JASaffは、適合性評価機関が本方針に適合しない方法で、認定シンボル等の不正使用又は認定の地位に関する主張を行った場合には、必要な是正処置を講じることを要求する。なお、適合性評価機関が当該要求に応じないときは、認定の一時停止又は取消し若しくはその他法的処置を検討する。</p> <p>また、第三者が認定シンボル等の使用、認定の主張等を行っていることを確認した場合、JASaffは法的処置の検討などの適切な対応を行う。</p>	<p>4.5 認定シンボル等の不正使用に対する処置</p> <p>JASaffは、適合性評価機関が本方針に適合しない方法で、認定シンボルの不正使用又は認定の地位に関する主張を行った場合には、必要な是正処置を講じることを要求する。なお、適合性評価機関が当該要求に応じないときは、認定の一時停止又は取消し若しくはその他法的処置を検討する。</p> <p>また、第三者が認定シンボルの使用、認定の主張等を行っていることを確認した場合、JASaffは法的処置の検討などの適切な対応を行う。</p>
<p>別紙</p> <p>JASaff 認定シンボルの使用等に関する申請書</p> <p>年 月 日</p> <p>独立行政法人農林水産消費安全技術センター 認定センター所長 殿</p> <p>住所</p> <p>法人名</p> <p>代表者氏名</p> <p>認定シンボルの使用又は認定の地位の表明について、別添のとおり作成したので申請します。なお、申請にあたり、JASaff シンボルの使用に関する方針（JASaff PL200:2023）4.3 に規定する認定シンボルの使用及び認定の地位の表明における要求事項を遵守することを申し添えます。</p> <p>注記：申請書の他、認定シンボルの使用又は認定の地位の表明の内容がわかる書類（認証文書、試験報告書、名刺及び Web サイト等）を添付してください。申請の内容を確認し、必要に応じて質問及び臨時審査を行うことがあります。その際は担当する審査員が別途連絡いたします。</p>	<p>別紙 <u>1</u></p> <p>JASaff 認定シンボルの使用等に関する申請書</p> <p>年 月 日</p> <p>独立行政法人農林水産消費安全技術センター 認定センター所長 殿</p> <p>住所</p> <p>法人名</p> <p>代表者氏名</p> <p><u>JASaff</u> 認定シンボルの使用又は認定の地位の表明について、別添のとおり作成したので申請します。なお、申請にあたり、JASaff シンボルの使用に関する方針（JASaff PL200:2023）4.3 に規定する認定シンボルの使用及び認定の地位の表明における要求事項を遵守することを申し添えます。</p> <p>注記：申請書の他、<u>JASaff</u> 認定シンボルの使用又は認定の地位の表明の内容がわかる書類（認証書、試験報告書、名刺及び Web サイト等）を添付してください。申請の内容を確認し、必要に応じて質問及び臨時審査を行うことがあります。その際は担当する審査員が別途連絡いたします。</p>
<p><u>(削除)</u></p>	<p><u>別紙 2 認定シンボルの使用に関する評価結果</u></p> <p><u>(略)</u></p>